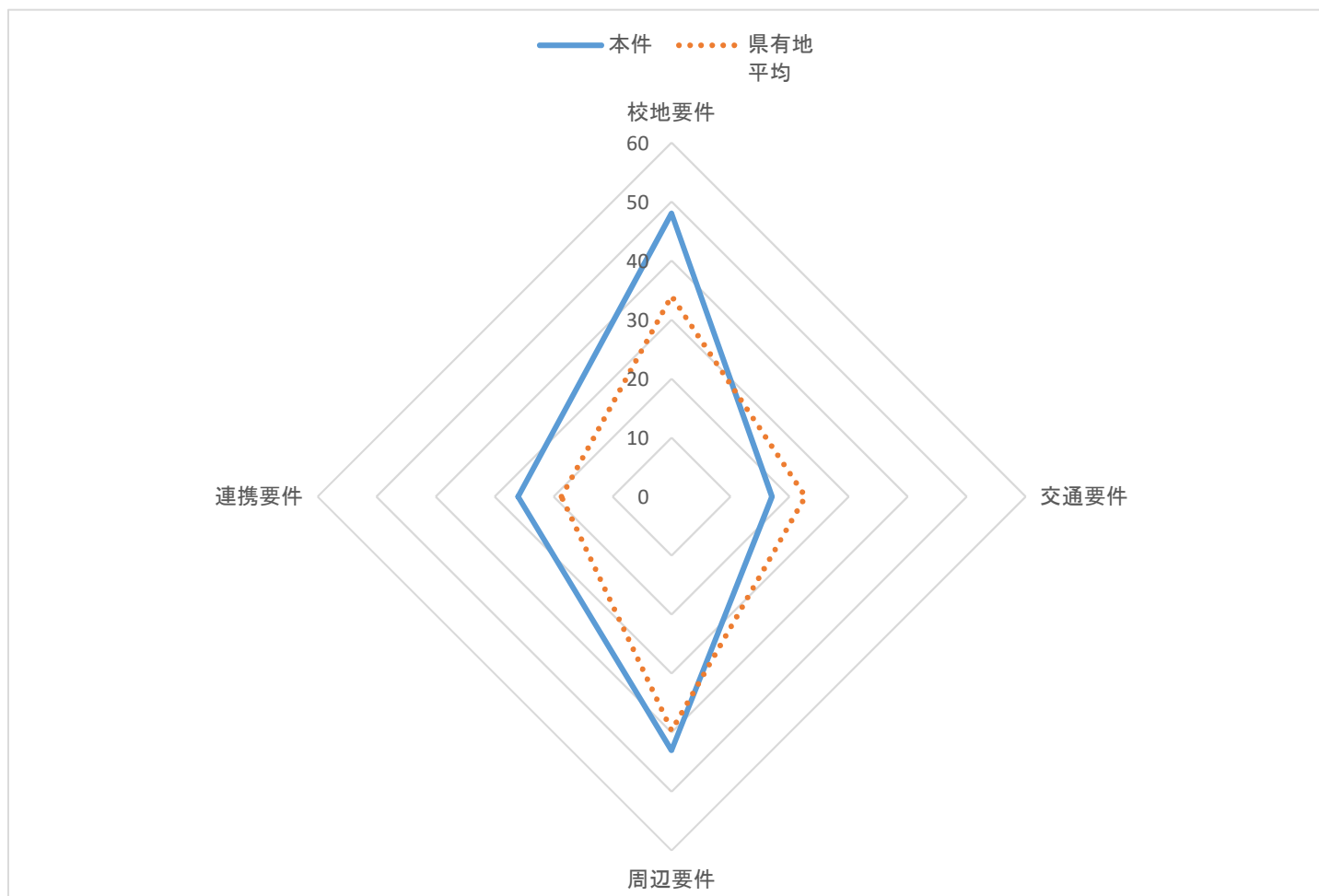


1 旧長浜北高校

総務・企画・公室常任委員会 資料1-4
 令和4年(2022年)6月8日
 総合企画部 企画調整課

所在地 所在図 土地形状	長浜市山階町  地理院地図より作成
交通条件	JR長浜駅より3.4km 自転車 14分 徒歩43分
土地面積 法令条件等	44,339 m ² 現状:空地 市街化調整区域 埋蔵文化財包蔵地(長浜北高遺跡)
危険度	最大浸水深図 1/10年 PL値15以上 活断層
その他	(Blank)

1 旧長浜北高校



区分	本件	県有地平均
校地要件	48	34
交通要件	17	23
周辺要件	43	40
連携要件	26	19
総合点	5	
小計	139	
コスト要件	0	
合計点	139	

1 旧長浜北高校

項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須	44,339㎡	○	
		② 用地取得の確実性	必須	OK	○	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須	なし	○	
		④ 危険区域の有無	必須	区域外	○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	なし	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値15以上	△	1
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	40,000㎡～49,999㎡	○	20
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	整形、平坦、2方向アクセス	◎	15
		小 計		60		
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	2.5本/h	△	3
		2-1-2 県内からのアクセス（後背人口）	30	16,908	△	10
		2-1-3 県外からのアクセス	15	5,126	×	0
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	主要国道横断 主要箇所安全設備あり 一部歩道狭い	○	4
		小 計		60		

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9		
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	経路にパチンコ店	○	6		
		3-1-3	学生の便利施設の立地	6	徒歩圏内に商業施設、医療施設	○	4		
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6	創業支援	△	2		
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6	長浜ちりめん	○	4		
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3	曳山、茶わん祭り	○	2		
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15	自治体・経済界	○	10		
3-3-2		住宅密集地までの距離	6	接していない	◎	6			
			小計	60			43		
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	長浜バイオ大車15分 滋賀大車25分 県立大車30分	○	10		
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	長浜北星高（生徒数593人）	△	3		
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	東北部工技センター車20分	△	5		
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	28,292,882	○	6		
		4-1-5	法人本部との連携	6	車25分	△	2		
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6	0	×	0		
				小計	60			26	
総合点			30	<ul style="list-style-type: none"> ●元高校跡地であり、土地の広さ、形状の面で優れている。また、地場産業や伝統文化など、多様な学びのフィールドとしての魅力もある。 ●一方で、交通アクセスにやや難があり、県内においても通学可能範囲が限定される。 			5		
							計		139
							コスト要件		0
							合計	(小計ーコスト要件)	139

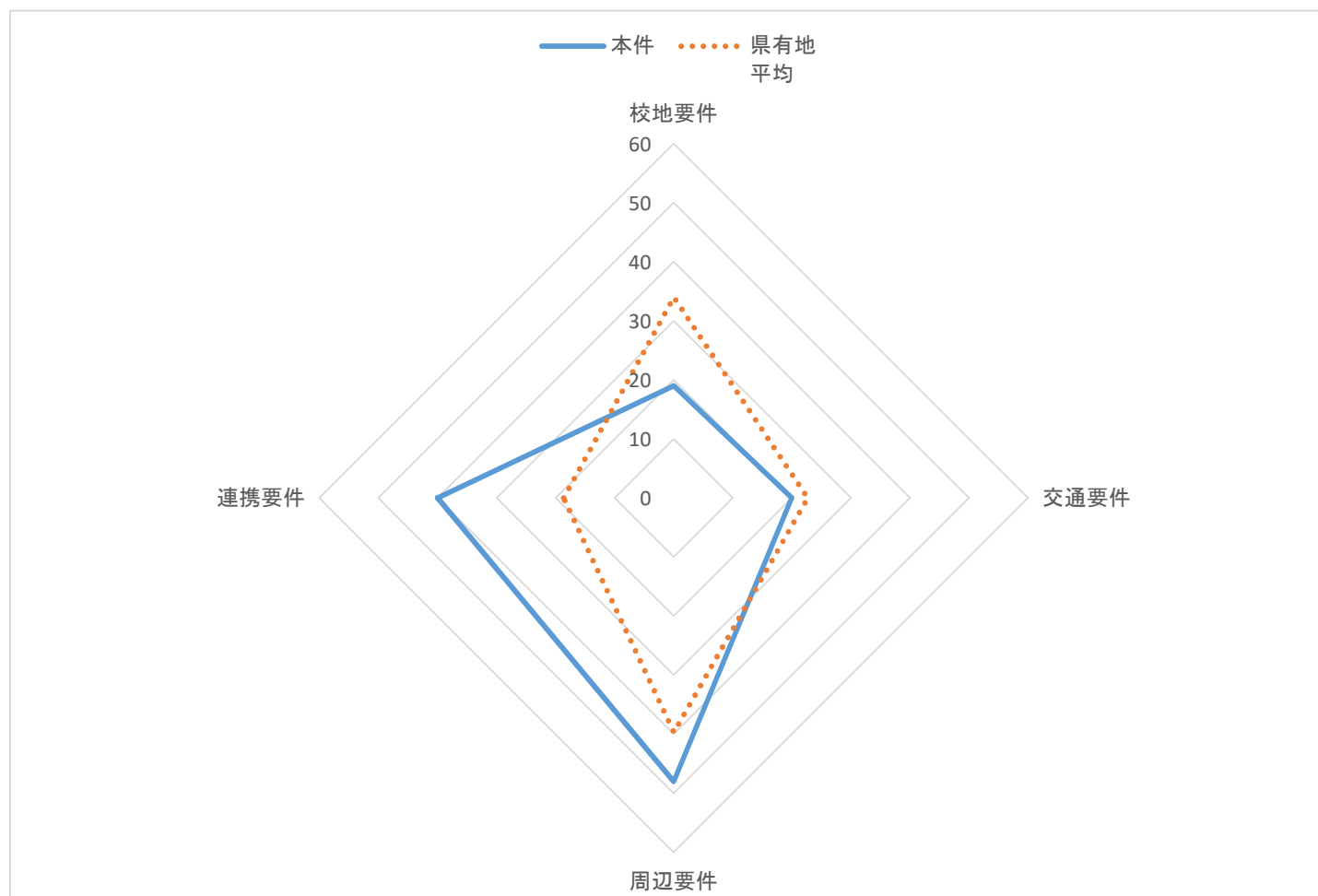
(参考：総合点除き) 134

1 旧長浜北高校

2 県大敷地

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>彦根市八坂町</p>  <p style="text-align: right;">地理院地図より作成</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR南彦根駅から3.8km バス13分 自転車16分 徒歩48分</p>
<p>土地面積 法令条件等</p>	<p>約25,000 m² 市街化区域(第1種中高層住居専用地域) 農振法 一部埋蔵文化財包蔵地</p>
<p>危険度</p>	<p>最大浸水深図 1/10年 — 琵琶湖洪水浸水想定(想定最大規模) 0.5m~1.0m PL値5~15未満 — 活断層 —</p>
<p>その他</p>	

2 県大敷地



区分	本件	県有地平均
校地要件	19	34
交通要件	20	23
周辺要件	48	40
連携要件	40	19
総合点	5	
小計	132	
コスト要件	14	
合計点	146	

2 県大敷地

項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須	約25,000㎡(南P+北)	○	
		② 用地取得の確実性	必須	拡張可能性不明	○	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須	なし	○	
		④ 危険区域の有無	必須	区域外	○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	なし	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値5~15未満	○	2
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	20,000㎡~29,999㎡	×	0
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	分離、整形、2方向アクセス	△	5
		小計	60			19
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	3.7本/h	○	6
		2-1-2 県内からのアクセス(後背人口)	30	29,003	△	10
		2-1-3 県外からのアクセス	15	7,063	×	0
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	幹線道路あり 主要箇所安全設備あり 一部歩道なし バス利用可	○	4
		小計	60			20

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の利便施設の立地	6	付近コンビニ、大学施設 徒歩圏内病院	○	4
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6	近江テックアカデミー「インスピレイク」	○	4
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6	仏壇、バルブ、ファンデーション	○	4
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3	彦根城、城下町	○	2
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15	自治体・経済界	○	10
3-3-2		住宅密集地までの距離	6	接していない	◎	6	
			小 計	60			48
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	県立大近接 滋賀大車10分 聖泉大車15分 長浜バイオ大車20分 びわこリハ専大車30分	◎	15
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	滋賀県立大近接（学生数2584人）	○	6
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	東北部工技センター車25分	△	5
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	23,517,681	○	6
		4-1-5	法人本部との連携	6	車0分	◎	6
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6	ミシガン州立大学連合日本センター	△	2
				小 計	60		
総合点			当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30	<ul style="list-style-type: none"> ●隣接の滋賀県立大学、近隣の滋賀大学との連携による学びや学生活動の相乗効果が期待でき、特徴的な学びの成果が県内全域に波及することが期待できる。 ●また、地場産業や国宝彦根城、琵琶湖など、学びのフィールドとしての魅力も有する。 ●一方で校地面積は十分でなく、かつ2か所に分断されるなど、拡張性が低く、建築・設計上の制約が大きい。また、公共交通機関の利用が基本となる15歳から20歳の学生が通う学校としては県内外からの交通アクセスにもやや難がある。 		5
			計				132
			コスト要件		既存施設活用、運営費低減+14		14
			合計		(小計-コスト要件)		146

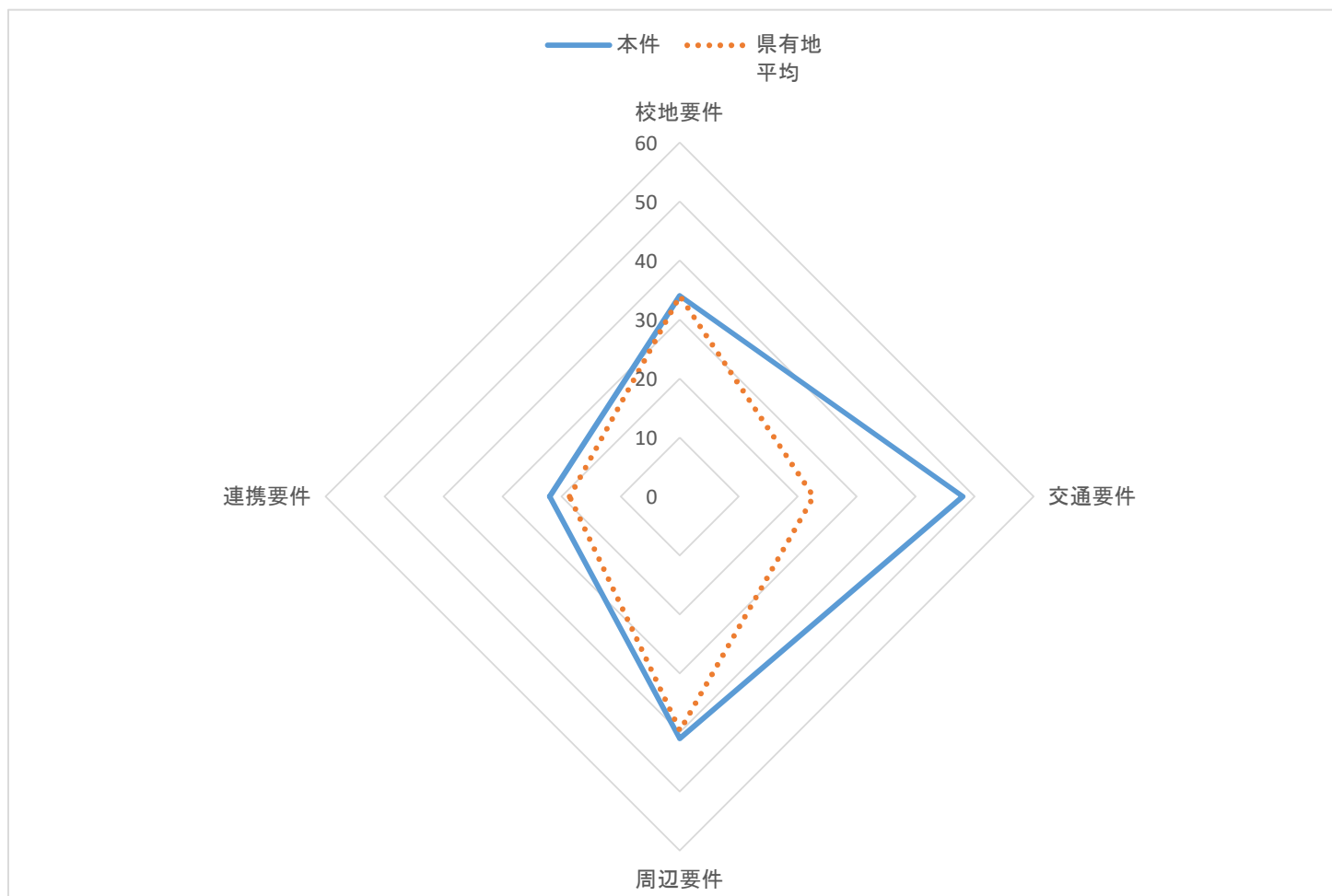
(参考：総合点除き) 141

2 県大敷地

3 旧野洲川

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>野洲市市三宅</p>  <p style="text-align: right;">地理院地図より作成</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR野洲駅1.3km 自転車6分 徒歩17分</p>
<p>土地面積 法令条件等</p>	<p>43,177.85 m² 現状:林 市街化調整区域 埋蔵文化財包蔵地でない</p>
<p>危険度</p>	<p>最大浸水深図 1/10年 0.5m未満 PL値5~15未満 活断層 —</p>
<p>その他</p>	<p>隣接は国有地</p>

3 旧野洲川



区分	本件	県有地平均
校地要件	34	34
交通要件	48	23
周辺要件	41	40
連携要件	22	19
総合点	10	
小計	155	
コスト要件	-4	
合計点	151	

3 旧野洲川

項		目	配点	内容	評価	点数	
必須要件		① 最低限の校地面積	必須	43,178㎡	○		
		② 用地取得の確実性	必須	OK	○		
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須	なし	○		
		④ 危険区域の有無	必須	区域外	○		
校地要件	安全性	1-1-1	浸水可能性	3	0.5m未満	◎	3
		1-1-2	液状化可能性	3	PL値5～15未満	○	2
		1-1-3	活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1	校地面積	30	40,000㎡～49,999㎡であるが不整形で有効面積少	△	10
		1-2-2	景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3	土地の形状	15	細長、造成により平坦、2方向アクセス	○	10
			小 計	60			34
交通要件	通学の容易性	2-1-1	公共交通の利便性	9	8.7本/h	◎	9
		2-1-2	県内からのアクセス（後背人口）	30	43,286	○	20
		2-1-3	県外からのアクセス	15	56,477	◎	15
		2-1-4	通学経路の安全性等	6	幹線道路あり 主要箇所安全設備あり（一部路側帯）	○	4
			小 計	60			48

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の利便施設の立地	6	徒歩圏内に商業施設、医療施設	○	4
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6	創業支援、ビジネスプランコンペ等	△	2
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6	なし	×	0
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3	三上ずいき祭り	△	1
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15	自治体・経済界	○	10
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	接していない	◎	6
			小計	60			41
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	立命館大、龍谷大、滋賀大（教育）、滋賀医大、成安造形大、びわこ学院大車30分	△	5
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	野洲高（生徒数419人）	△	3
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	工技総合センター車20分	△	5
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	30,304,510	◎	9
		4-1-5	法人本部との連携	6	車40分	×	0
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6	0	×	0
				小計	60		
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30	<ul style="list-style-type: none"> ●交通アクセスに優れ、全国の高専の空白地帯を埋める位置に立地することから、県内各地をはじめ、県外からの通学生も期待できる。また、周辺にはグローバル展開を図る事業所が立地し、それらの企業の教育面の協力や技術者同士の交流などにより、先端的な学びの成果の県内全域への波及が期待できる。 ●一方で、細長い形状の校地は設計・建築上の制約条件となるおそれがあり、校内での移動時間への影響などが懸念される。 			10
			計				155
			コスト要件		造成、伐採		-4
			合計		(小計-コスト要件)		151

(参考：総合点除き) 141

3 旧野洲川

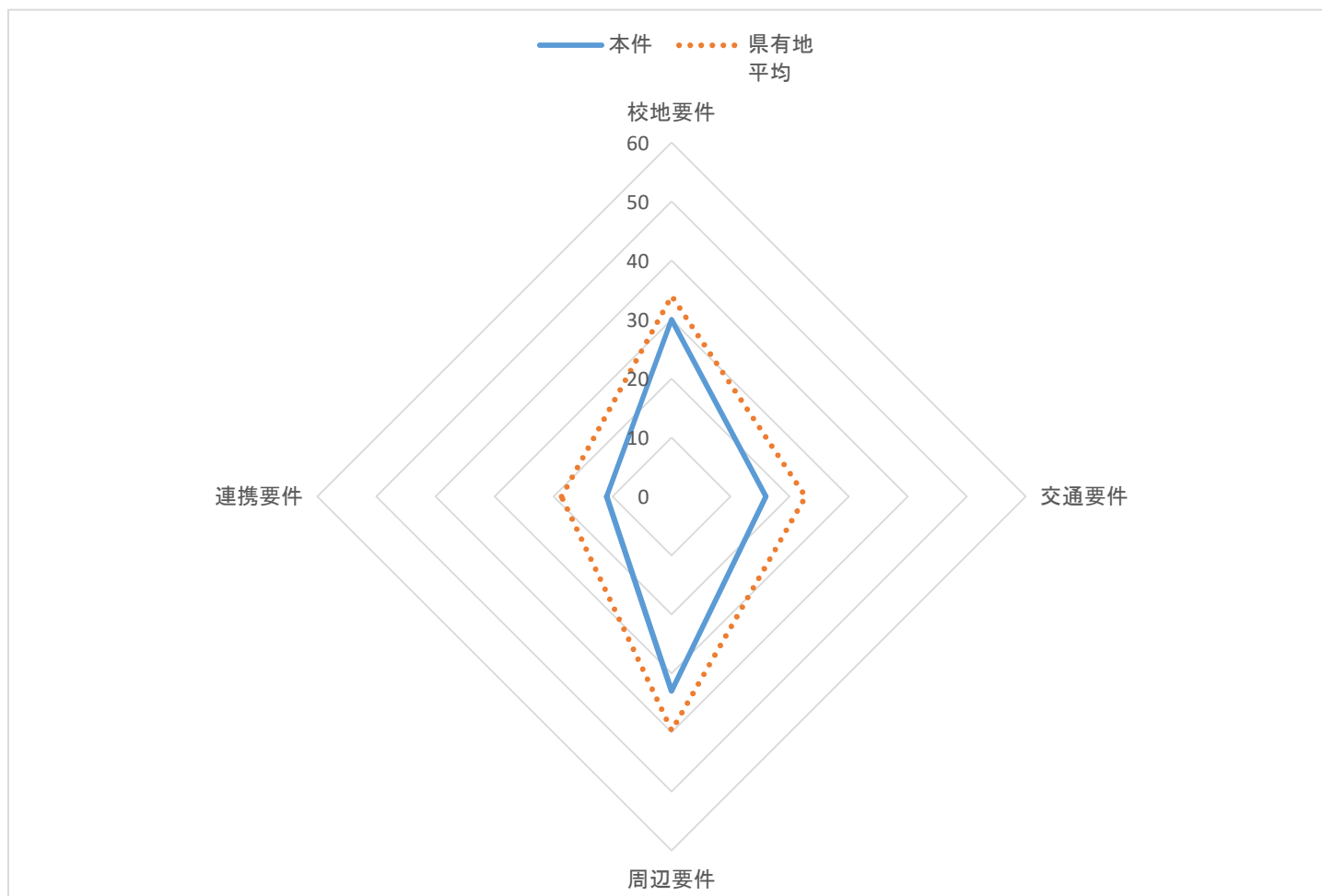
4 旧しゃくなげ園

所在地 所在図 土地形状	蒲生郡日野町小御門		
交通条件	近江鉄道日野駅1.3km	自転車6分	徒歩17分
土地面積	20,451 m ²		
法令条件等	都市計画区域外		
危険度	最大浸水深図 1/10年	—	
その他	PL値	—	
その他	活断層	—	



地理院地図より作成

4 旧しやくなげ園



区分	本件	県有地平均
校地要件	30	34
交通要件	16	23
周辺要件	33	40
連携要件	11	19
総合点	0	
小計	90	
コスト要件	0	
合計点	90	

4 旧しやくなげ園


項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須	20,451㎡	○	
		② 用地取得の確実性	必須	OK	○	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須	なし	○	
		④ 危険区域の有無	必須	区域外	○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	なし	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	なし	◎	3
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	20,000㎡～29,999㎡	×	0
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	ほぼ整形、平坦、2方向アクセス	◎	15
		小計	60			30
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	1.7本/h	×	0
		2-1-2 県内からのアクセス（後背人口）	30	19,788	△	10
		2-1-3 県外からのアクセス	15	0	×	0
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
		小計	60			16

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9	
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9	
		3-1-3	学生の利便施設の立地	6	少し離れてコンビニ、医院	△	2	
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6	創業塾	△	2	
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6	製薬	○	4	
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3	日野祭り	△	1	
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15	—	×	0	
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	接していない	◎	6	
		小 計		60			33	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	びわこ学院大車20分 びわこリハ専大車25分	△	5	
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	日野高（生徒数452人）	△	3	
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	なし	×	0	
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	15,352,725	△	3	
		4-1-5	法人本部との連携	6	車40分	×	0	
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6	0	×	0	
			小 計		60			11
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				0	
計							90	
コスト要件							0	
合 計							(小計ーコスト要件)	90

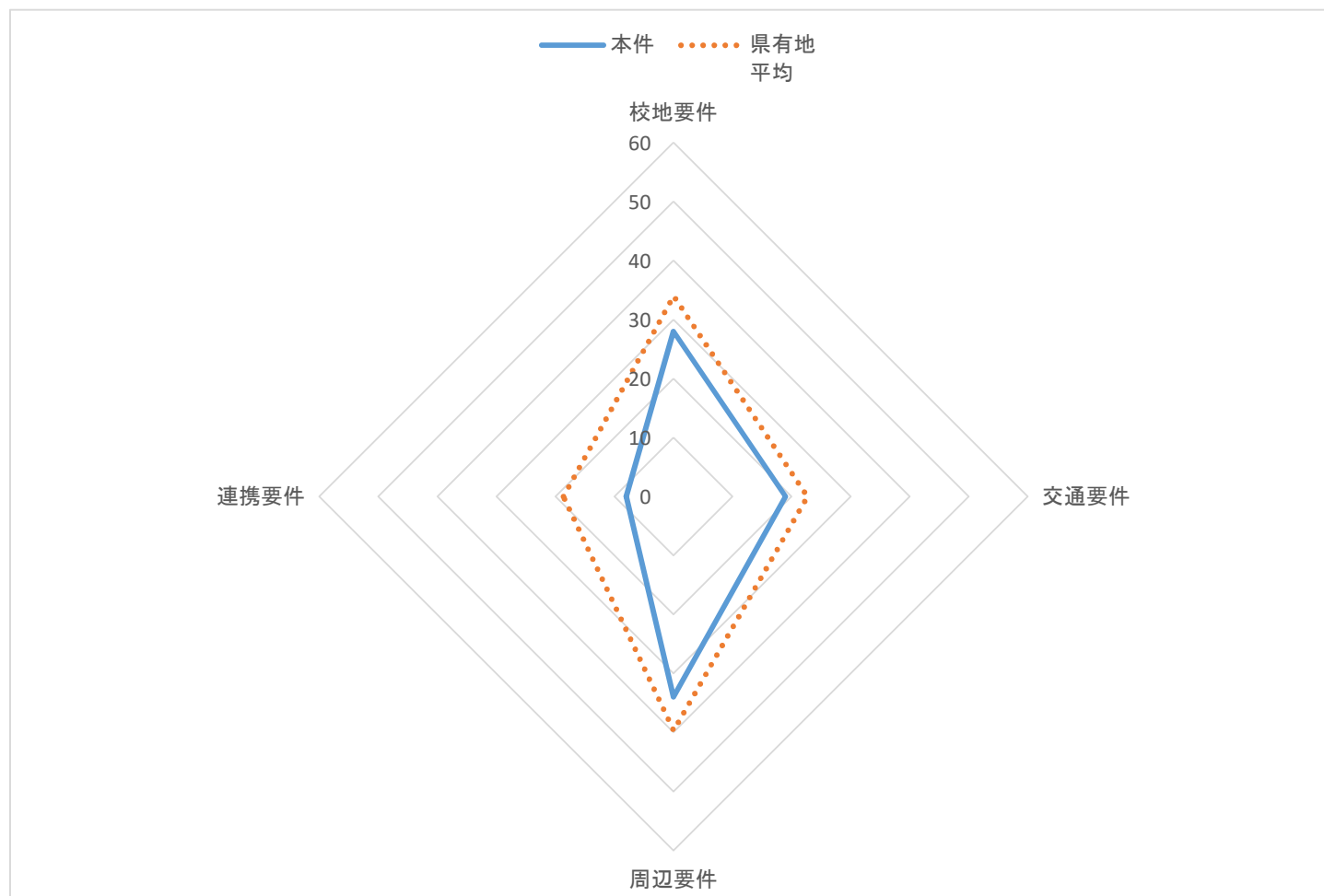
(参考：総合点除き) 90

4 旧しゃくなげ園

5 旧農技センター湖北分場

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>長浜市木之本町千田</p>  <p style="text-align: right;">地理院地図より作成</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR木ノ本駅1.7km 自転車7分 徒歩22分</p>
<p>土地面積 法令条件等</p>	<p>25,867 m² 現状:建物残存、田</p> <p>非線引き都市計画区域 農振法:白地 長浜市特定用途制限地域 埋蔵文化財包蔵地隣接 その他</p>
<p>危険度</p>	<p>最大浸水深図 1/10年 0.5m~1.0m PL値5~15未満 活断層</p>
<p>その他</p>	<p>—</p>

5 旧農技センター湖北分場



区分	本件	県有地平均
校地要件	28	34
交通要件	19	23
周辺要件	34	40
連携要件	8	19
総合点	0	
小計	89	
コスト要件	-4	
合計点	85	

5 旧農技センター湖北分場

項		目	配点	内容	評価	点数	
必須要件		① 最低限の校地面積	必須	25,867㎡	○		
		② 用地取得の確実性	必須	OK	○		
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須	0	○		
		④ 危険区域の有無	必須	区域外	○		
校地要件	安全性	1-1-1	浸水可能性	3	1.0m未満	○	2
		1-1-2	液状化可能性	3	PL値5～15未満	○	2
		1-1-3	活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1	校地面積	30	20,000㎡～29,999㎡	×	0
		1-2-2	景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3	土地の形状	15	整形、平坦、2方向アクセス	◎	15
		小 計		60			28
交通要件	通学の容易性	2-1-1	公共交通の利便性	9	2.5本/h	△	3
		2-1-2	県内からのアクセス（後背人口）	30	12,341	△	10
		2-1-3	県外からのアクセス	15	1,292	×	0
		2-1-4	通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
		小 計		60			19

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9	
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9	
		3-1-3	学生の利便施設の立地	6	少し離れてコンビニ、医院	△	2	
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6	創業支援	△	2	
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6	長浜ちりめん	○	4	
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3	曳山、茶わん祭り	○	2	
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15	—	×	0	
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	接していない	◎	6	
		小 計		60			34	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	長浜バイオ大車30分	△	5	
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	伊香高（生徒数265人）	△	3	
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	なし	×	0	
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	5,784,790	×	0	
		4-1-5	法人本部との連携	6	車40分	×	0	
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6	0	×	0	
			小 計		60			8
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				0	
計							89	
コスト要件							-4	
合 計							(小計ーコスト要件)	85

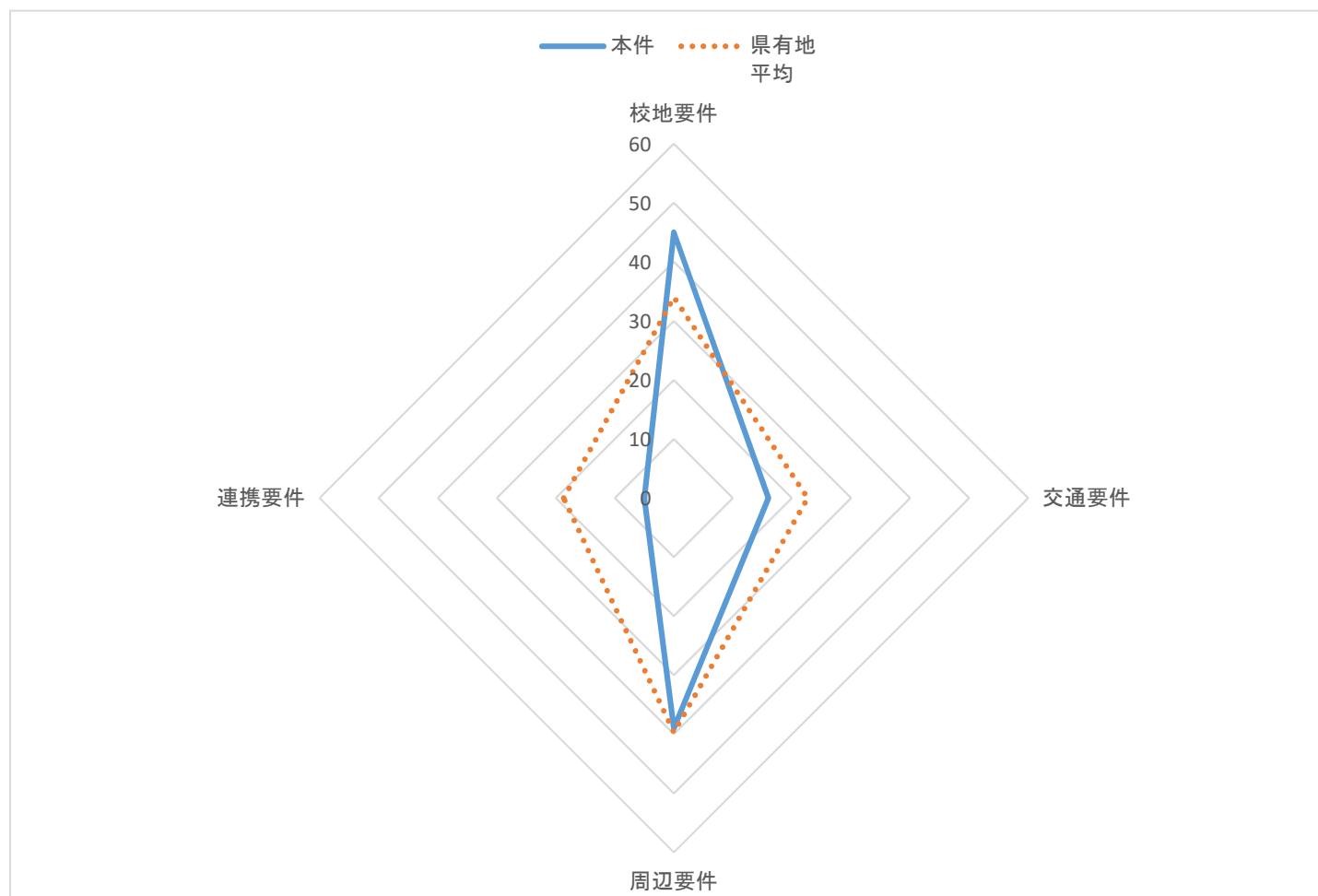
(参考：総合点除き) 85

5 旧農技センター湖北分場

6 旧リゲイン用地

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	
<p>交通条件</p>	<p>近江鉄道朝日大塚駅2.5km 自転車10分 徒歩32分</p>
<p>土地面積</p>	<p>148,892 m²</p>
<p>法令条件等</p>	<p>市街化調整区域</p>
<p>危険度</p>	<p>最大浸水深図 1/10年 —</p>
<p>その他</p>	<p>活断層 —</p>
<p>その他</p>	<p></p>

6 旧リゲイン用地



区分	本件	県有地平均
校地要件	45	34
交通要件	16	23
周辺要件	39	40
連携要件	5	19
総合点	0	
小計	105	
コスト要件	-100	
合計点	5	

6 旧リゲイン用地

項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須	148,892㎡	○	
		② 用地取得の確実性	必須	OK	○	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須	0	○	
		④ 危険区域の有無	必須	区域外	○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	なし	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	なし	◎	3
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	50,000㎡～	◎	30
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	傾斜、進入路なし	×	0
		小 計		60		
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	1.7本/h	×	0
		2-1-2 県内からのアクセス（後背人口）	30	15,284	△	10
		2-1-3 県外からのアクセス	15	0	×	0
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
		小 計		60		

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の利便施設の立地	6	コンビニ、少し離れて医院	△	2
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6	起業塾	△	2
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6	湖東麻織物	○	4
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3	ケンケト祭り、五箇荘	○	2
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15	自治体	△	5
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	接していない	◎	6
		小計	60				39
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	びわこ学院大車20分 びわこリハ専大車30分	△	5
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	なし	×	0
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	なし	×	0
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	5,405,450	×	0
		4-1-5	法人本部との連携	6	車45分	×	0
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6	0	×	0
			小計	60			
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				0
		計					105
		コスト要件					-100
		合計		(小計ーコスト要件)			5

(参考：総合点除き) 5

6 旧リゲイン用地